

平成17年度第5回理事会議事概要

日 時 平成17年9月2日（金） 13:30～14:00

場 所 特別会議室

出席者	理事（企画・総務担当）	川 喜 多 進
	理事（森林研究担当）	桜 井 尚 武
	理事（林業・木材産業研究担当）	久 田 卓 興
	監事	真 柴 孝 司
	監事	井 上 徹 雄
	企画調整部長	石 塚 和 裕
	総務部長	周 藤 眞
	事務局（企画科長）	大 河 内 勇
	事務局（総務課長）	土 肥 史 朗

欠席者 理事長 大 熊 幹 章

1. 開会

2. 議事

（1）第21回独立行政法人評価委員会林野分科会について

（石塚企画調整部長）

＜資料1：第21回独立行政法人評価委員会林野分科会議事次第により説明＞

平成17年8月26日に林野分科会が開催され、林木育種センター、森林総合研究所及び緑資源機構の平成16年度の業務実績に関する評価結果について、「平成16年度の業務実績に関する評価結果」に基づき説明があった。

当所の評価結果は、中期計画に対して概ね順調に推移しているとの判断から総合評価の評定は（A）となった。その内容は、28項目全てがAと判定されたが、今年から（A+）の評価ランクが設けられたため、28項目のうち3項目がA+と判定された。尚、業務運営に対する総括的な意見として、研究所の業務運営の改善に資するため4点の意見が述べられている。

また、当所の重要な財産の処分として、千代田試験地の土地のうち約300㎡を県の道路拡張目的のために

処分することが了解された。

(井上監事)

業務運営に対する総括的な意見の中で「・・・分野横断的な研究にも組織的に取り組まれることを期待する」とのコメントがあるが、評価委員からは、何か具体的な指摘があったのか。組織のフラット化等によって、研究分野の横の繋がりをうまくやっていると思っているが、森林・林業・木材産業を束ねたようなより横断的な方向づけを考えていくことも必要と思う。

(桜井理事)

11の研究分野があるが、「森林・林業・木材産業を総体としてどうまとめるのか。」と言われた。つまり、森林総合研究所として「総合」の部分をしっかりやってほしいとのことだと思う。

(真柴監事)

業務運営に関する意見の中で「林業現場等のニーズを常に念頭におき、研究を推進されたい。」とあるのは、「環境やCO2削減などで成果が上がっているが、一般林家に目のつくような研究成果がない。」ということで、森林総研として重く受け取るべきではないか。

(桜井理事)

現場の目、フィールドサイエンスにも目を向ける必要がある。技会関係研究機関では、研究者を農家に送り込んで、対応するなどしている。当所も、常に「林業」を忘れてはいけないということだと思う。

(川喜多理事)

本件については、報告のあったとおり了解する。

(2) 平成17年12月研究職（選考採用）の募集について

(石塚企画調整部長)

<資料2：平成17年12月研究職員（選考採用）の募集についてにより説明>

今年度の研究職は8名減となっているので、補充したい。スケジュールは、9月30日応募〆切で、12月1日採用としたい。募集内容は、資料のとおりである。

(真柴監事)

試験の審査はどのように行うのか。

(石塚企画調整部長)

理事、部長、研究管理官並びに関係研究領域長からなる選考委員会を設けて、書類審査と面接を行って決定している。

(川喜多理事)

本件については、報告のあったとおり了解する。

(3) その他

- ・平成18年度予算概算要求について

(真柴監事)

農水省は、平成18年度の予算概算要求を8月末までに財務省に提出したと思うが、どのような内容となっているのか。

(周藤総務部長)

現中期計画中の人件費分については今年度で精算することになるので、平成18年度分については、672名を基準に必要額(64億円)を要求した。

業務費及び一般管理費については、固定的な経費を除いて、効率化係数1%を乗じて要求した。

掛かり増し経費(γ要求)については、雇用保険料・採用及び研修に要する経費を要求した。

施設整備費については、重点課題に必要な木質構造強度性能評価実験棟改修費、省エネ対策経費として研究本館及びエネルギーセンターINV新設換気送風機電力削減改修費及び老朽化対策経費を前年度比200%で要求したところである。

(川喜多理事)

他に質問等なければ、本日はこれをもって終了する。

次回の平成17年度第6回理事会は9月30日(金)を予定する。

3. 閉会